

社会的支援について

1 がんセンターの社会的支援状況

(1) 相談支援

① がん相談支援センターの運営

相談支援センターでは、看護師が、患者や家族、一般県民からの相談に対応しており、相談件数は年々増加している。

(相談件数：⑲2,627→⑳2,754件→㉑3,029件)

《相談の内容等》

H29 相談実績では、治療法に関する相談が約 28%、治療を受ける上での悩みや不安等に関する相談が約 18%など、専門知識を有する看護師を頼りにする相談が上位となっているが、一方で家族同士の交流や、がん経験者との対話などを求める意見も年々増えてきている。

② アピアランス支援センターの取組

H29.4 にアピアランス支援センターを開設し、外見(脱毛・ウィッグ等)に関する悩みの軽減等に努めている。(H29 相談件数：486 件)

③ 仕事と治療の両立支援

仕事を続けながら治療を希望する患者が増加していることから、(独)産業保健センターと連携し、労務に関する専門知識を有する者が、仕事と治療の両立に関する相談(週 1 回)に応じている。(H29 相談件数：45 件)

(2) 就労支援

ハローワーク明石が出張相談(月 2 回)を行い、患者の就職を支援している。

相談件数は年々増加しており、今後益々の増加が見込まれる。

【相談件数及び就職件数】

	H27	H28	H29
相談件数	126	148	273
うち求職件数 ①	34	42	79
うち就職件数 ②	15	24	31
②/①	44.1%	57.1%	39.2%

(3) 教育・研修

医療従事者向けの研修・セミナーに加え、一般県民向けのフォーラムを開催するなど、がんに対する情報提供・正しい知識の普及啓発等を行っているが、教育機関に対する講師派遣などは行っていない。

2 「1」を踏まえた今後の社会的支援のあり方について

① 患者及び患者家族の心情に添った相談支援等

相談支援センターに寄せられた患者・家族の希望に対応するため、患者や家族同士が気軽に情報交換等を行うスペースの設置や、ピア・サポーターの活動を推進する。

② 就労支援

就労支援へのニーズの高まりに対応するため、引き続きハローワークとの連携を図るとともに、社会保険労務士との連携など、新たな就労支援方策の導入も検討していく。

③ がん教育への協力

教育機関が実施するがん知識の普及に向けた取組等に対し、医師を講師として派遣するなど協力を行う。